

マーケットの動き (2023年12月11日～12月15日)

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

11日に「日銀はマイナス金利や長短金利操作の撤廃などを今月急ぐ必要はほとんどない」と報道されたほか、13日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で利下げ開始時期の議論が始まったと明らかになり米国金利が低下したことなどを受け、国内長期金利も低下しました。クレジット市場は、目先の金利先高観が落ち着きつつある中、年内の大型起債はほとんど消化され需給は改善傾向にありました。

投資環境見通し (2023年12月)

国内長期金利はレンジ内での動き

国内長期金利は景気の減速感に加えて、追加利上げ観測の後退を受けた米国長期金利の低下もあり、さらに低下するとの見方もあります。一方で、来年度の物価ならびに賃上げ動向を見据えた日銀の政策修正観測も根強いことから、国内長期金利はレンジ内での動きになるとみています。

	12月15日	変動幅 (騰落率)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り (日本、%) (変動幅)	0.70	▲0.07	▲0.08	0.28	0.45
NOMURA-BPI総合 (騰落率)	366.66	0.68%	0.63%	▲2.42%	▲1.47%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202312_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

(期間：2022年11月30日～2023年12月15日)



NOMURA-BPI総合指数の推移

(期間：2022年11月30日～2023年12月15日)



※2022年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成